



稚内市立増幌小中学校 学校だより

責任者：校長 山本以久子

「SDGs」持続可能を考える

校長 山本 以久子

長いと思っていた2学期が終了いたしました。12月前半は雪が少なく暖かい日が続いていましたが、後半は、暴風雪が何度もやってきて、登下校の心配をする日が多くなってきました。例年とは違う気候に、ちょっと気味悪さを感じます。地球温暖化がちょっとずつ忍び寄っているのでしょうか。地球上に人類が出現してから約400万年、火を扱う「ヒト」が出現したのが約10万年前、地球46億年の歴史の中のたった1000分の1にあたります。しかし、人間が地球環境にもたらしたものは、計り知れません。動植物に影響を及ぼし始め、いよいよ人間にも降りかかってきています。

今年のノーベル物理学賞を受賞した眞鍋淑郎さんは、50年前から二酸化炭素と気温の上昇について研究を重ね、現在の地球温暖化の予測に役立っているということです。地道な努力が世界で認められ誇らしいです。しかしながら、最近のノーベル賞を受賞する日本人は、海外に移住していることが気になります。日本では研究が続けられず、他の国へ移住してしまうことが多いように感じ残念です。最初は無駄のように見える基礎的な研究も続けていくうちに素晴らしい研究に変わっていく。その中にはたくさんの無駄や失敗があるのも事実です。それでも続けることが大事なのだということを教えて下さっているように思います。

2015年に国際サミットで「SDGs」持続可能な17の開発目標が採択されました。持続可能でよりよい世界を目指すための目標です。私たち一人一人ができることはとても小さなことですが、日本人一人ずつが、おにぎり一個を捨てないことで一億個分のフードロスが防げるのですから、それを世界の飢餓で苦しむ子ども達へ届けることができたらそれはとても素晴らしいことです。無駄かもしれない、駄目かもしれないけれども、小さな一歩が大きな一歩になると信じて、子ども達と「持続可能」について考えていきたいと思えます。どうぞ、冬休み中に各家庭でも小さな一歩について考えてみて下さい。

管内最優秀作品も!

標語・読書感想文 審査結果発表!

今年も「北海道学び推進月間」標語作品コンクールが行われました。宗谷管内から410点の応募があり、その中から、本校児童の作品が最優秀賞（一番優れている賞）に選ばれました。

「北海道学び推進月間」標語 令和3年度 宗谷教育局 最優秀賞
「なんだろう? しらべてみたら 大はっけん!!」



いろいろなことに対して興味関心が高い子ども達。疑問に思ったことを自分で調べることの大切さと新しい知識を得た喜びが、17字の中に見事に表現されています。学ぶことの楽しさを、宗谷管内の子ども達へのメッセージとして届けられました。おめでとうございます! その他にも標語作品や読書感想文も入賞しましたので以下に紹介します。

令和3年度 稚内市児童・生徒生活安全安心標語コンクール

<火災部門>

入選 「火の始末 忘れているかも 再確認」

入選 「消したかな そう思ったら 再確認」



令和3年度 第60回稚内市読書感想文コンクール

<奨励賞>

本の題名「”It”と呼ばれた子」



思った以上にむずかしいぞ・・・

中学生 カーリング授業に挑む!

11月から12月にかけて、中学生の「カーリング授業」を稚内市みどりスポーツパークで計6時間行いました。最初は氷の上を歩く練習からスタート。ヨチヨチ歩きだったのが徐々に慣れ、いよいよストーン投げ。TVでは女性達が軽々と、しかも正確に投げっていますが実は大変難しく先生方も含めてみんなが悪戦苦闘。慣れるまで時間がかかりましたが、練習を重ねた結果、なんとかストーンを投げられるようになり、ゲームの楽しさが体感できました。貴重な体験をすることができた体育授業の1コマでした。

日	曜日	学校行事等
13	木	中：学習会（午前） 部活（午後）
14	金	中：学習会（午前） 部活（午後）
18	火	3学期始業式 中3学習会
19	水	中3年 学年末テスト
20	木	職員会議
21	金	縦清掃 委員会活動
22	土	小：レクレーション
27	木	縦清掃 雪遊びレクレーション
28	金	全校朝会 PTA3役会
31	月	小：スキー授業

